

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

2：【高校の特色ある取組】から4：【高校情報】までは各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区決定までの経緯等

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【全県一学区に向けての取組】

- (1) 合同相談会の開催
- (2) オープンキャンパス（学校説明会）の開催

2：【高校の特色ある取組】

- (1) 古川工業高等学校
地域のみならず化学技術の世界にふれてみませんか？
- (2) 村田高等学校
個性かがやく村高で君の夢をかなえよう！
- (3) 宮城野高等学校
ここでは一人ひとりが輝きます キーワードは「創造的自由」
- (4) 石巻工業高等学校
「国際基準の総合技術者」を育成する
- (5) 古川高等学校
半世紀の伝統「紫籐（しえん）定期戦」
- (6) 石巻商業高等学校
高度資格取得への挑戦
- (7) 白石工業高等学校
「個性かがやく高校づくり」の取組

3：【学校紹介スペシャル】

志津川高等学校

夢かなう場所 ー多様な夢・進路に対応する高校ー

4：【高校情報】

(1)河南高等学校

(仮称)石巻北高等学校 平成22年4月総合学科スタート

(2)第二女子高等学校

平成22年4月 (仮称)仙台二華中学校・高等学校が開校します

5：【お知らせ】

就職達成セミナーのご案内

6：【編集後記】

■ 1 全県一学区に向けての取組 ■

□ 合同相談会の開催

◇石巻会場 … 7月11日(土) 10:00～16:00

石巻市総合体育館

◇大崎会場 … 8月1日(土) 10:00～16:00

大崎市古川総合体育館

◇仙台会場 … 8月9日(日) 9:30～16:30

仙台市体育館

◇気仙沼会場 … 8月22日(土) 10:00～15:30

気仙沼市総合体育館(ケー・ウェーブ)

◇登米会場 … 9月5日(土) 10:00～16:00

迫体育館・迫公民館

◇白石会場 … 9月12日(土) 10:00～16:00

白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)

高校別の相談コーナーで個別に高校の紹介や進路相談が受けられます。また、高校ごとに教員による学校紹介(一斉説明会)があります。

参加についての事前の申込みは必要ありません。中学生と保護者の皆様、ぜひ参加ください。

なお、石巻、大崎、気仙沼、登米、白石会場の駐車場には限りがあります。仙台会場には駐車場がありませんので、一般交通機関をご利用ください。

詳細については、高校教育課のホームページをご覧ください。

□ オープンキャンパス(学校説明会)の開催

今年度も夏休みやその前後の土曜日などを中心に、各高校においてオープンキャンパス(学校説明会)を開催します。学校の特色の説明や、授業・部活動の体験・見学など、各学校がそれぞれ工夫をこらした魅力ある説明会・見学会です。ぜひ参加ください。

各学校の開催日時や参加対象者等について、高校教育課のホームページに掲載していますので、御覧ください。

受け、高校卒業後の学業や職業、社会人としてのあり方などを学ぶキャリア教育の充実に一層力を入れています。平成20年度には「職業人に学ぶ」、「なるには講座」、「ビジネスマナー講座」等、校外から講師を招いた講演会等を実施し、在校生は多くの刺激と激励を受けることができました。

→ <くわしくはこちら> <http://murata-h.myswan.ne.jp/>

□ 宮城野高等学校

| <ここでは一人ひとりが輝きます キーワードは「創造的自由」>

宮城野高校には、いわゆる「校則」と「部活動」がありません。学びの場の一員としての基本的な素養や態度をわきまえ、その上で自ら発見し判断し、そして行動するという「主体的な活動」を大事にします。そんな自由な雰囲気の中での活動の場として、次の4つのステージを準備しています。

【1】教科の学び：基礎的な知識の拡大や深化、思考力の育成を図ります。普通科・美術科・総合学科、それぞれの特色を生かした学び合いがあり、きめ細やかな科目選択や少人数による授業も大きな特色です。

【2】インターカリキュラム：各教科での学習を結びつけ、授業での学習だけでは得られないより深い理解を目指します。分析力や発信力、広い視野で深く考える力を培います。また、生涯学び続けることのできる基盤の力ともなります。

【3】創造的な活動：自ら考え行動して作り出す活動。サークルや校内ボランティアなど、主体的に取り組む充実した学校生活が待っています。

【4】校外研修：学校を飛び出し、各分野の専門家や地域との関わりでの体験から自己や社会を見つめます。

宮城野高校でのこれらの活動は、充実した進路の達成はもとより、21世紀を切り拓くことのできる「創造的自由」を獲得した人となることにつながります。

◎8月29日(土)に学校説明会を開催しますが、あわせて7月4日(土)の文化祭でも説明会を行います。ぜひ宮城野高校を体験してください。

→ <くわしくはこちら> <http://www.miyagino.myswan.ne.jp/>

□ 石巻工業高等学校

| <「国際基準の総合技術者」を育成する>

本校では、工業の専門技術・知識の習得に加え、地域・社会・世界における自己の責任・役割を自覚し、社会に貢献できる「国際基準の総合技術者」の育成を教育目標に掲げています。目標達成に向け、次の3点を重点目標としています。

①基礎・基本の学力の習得…分かる授業・達成感のある授業を目指し、宮城教育大学と連携して「授業力向上事業」を行っています。2年次からの科目選択で、進学にも対応したカリキュラムとなっており、就職率100%の維持と共に進学実績も上がりつつあります。

②技術・知識の専門性の深化…充実した施設・設備のもと、県内トップクラスの資格取得数を維持し、ものづくりコンテストに上位入賞するなど高い専門性を身に付けます。また、保育所の設計(建築科)、カキボールによる水質浄化(天文物理部)などの実践的な取組は生徒のモチベーションを高めることにもつながっています。

③社会生活力・適応力の習得…時間厳守・さわやかな挨拶など、3年間で培った社会性は、地域の信頼・企業からの期待を大きく得られています。部活動においては、数多くの部が東北大会・全国大会出場を毎年果たしています。石巻工業はこれからも入りたい高校・入って良かった高校を目指していきます。

→ くわしくはこちら > <http://ishiko.myswan.ne.jp/>

□ 古川高等学校

| <半世紀の伝統「紫籐（しえん）定期戦」>

古川高校と築館高校では、毎年4月下旬に定期戦を行っております。両校は明治時代の第三中学と栗原分校の関係にあり、交流は長く続いております。

紫籐定期戦は昭和34年にスタートしました。6月に行われる県高校総体に向け、両校運動部の技術向上や友情を深めることを目的とした行事です。全校生徒による応援となるため、非常に盛り上がる行事です。特に今年度は50回目を迎える記念大会となり、両校生徒会が中心となって昨年12月から準備を始め、記念Tシャツ・記念ポスターの制作などで大会を盛り上げました。

今年は築館高校を会場に17種目で勝敗を競い、10勝7敗で古川高校が勝利しました。閉会式では両校代表による手ぬぐい交換が行われ、両校の変わらぬ友情が今後も継続されることが確認されました。

紫籐定期戦の歴史や戦績などについては、本校のホームページで紹介しております。今年度の定期戦の様子は動画でお伝えしておりますので、御覧ください。

→ くわしくはこちら > <http://furuko.myswan.ne.jp/teikisen.html>

□ 石巻商業高等学校

| <高度資格取得への挑戦>

本校では、3年生を対象とした石巻専修大学との『高大接続研究事業』を実施しております。これは石巻専修大学の御協力により、受講料免除で同大学の前期3講座、後期7講座の計10講座の中から各期1講座を、希望生徒が週1回受講できるというものです。しかも、本校と大学の両校で受講した講座の単位の認定も行ないます。

また、今年度から新たに「会計士・システムエンジニアなどのスペシャリスト輩出」を目標に掲げ、高校と大学の計7年間で会計専門職、高度情報技術者の資格取得を目指した取組も始めました。

日商簿記検定試験1級合格を目標に、石巻専修大学が開設する会計専門職養成特別講座がスタートし、希望生徒2・3年生が受講しております。

「抱け！日本一の志を！」を合言葉に、生徒に夢と高い目標を持たせるために、将来展望のイメージ図を作成しました。

詳しくは石巻商業高等学校ホームページにアクセスしてください。

⇒くわしくはこちら > <http://www.sekisyo.myswan.ne.jp/>

□ 白石工業高等学校

| <「個性かがやく高校づくり」の取組>

1 大学進学希望者が、大学の授業を定期的に体験しています

東北工業大学の先生方が年 15 回にわたって本校又は東北工大（実験室内）で授業を行い、本校の希望生徒が受講するというものです。

2 企業との結びつきを強め、技術者としてのスペシャリストを目指しています

①様々な会社のプロを招き技術指導をして頂いています。

②地元の会社でインターンシップ（職業体験）を実施しています。

3 地域との関係も大切にしています。

①地震防災市民講座の開催

建築士会・白石市役所との合同企画で、本校の生徒が市民の方々に防災についての講座を年 1 回行っています。

②白石市役所との合同企画で、おもちゃの病院で壊れたおもちゃの修理をしました。

③「出前」授業の実施

専門科目の本校教員が中学校に出向き、授業を実施しています。本年度も多くの中学校からの連絡をお待ちしています。

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 志津川高等学校

| <「多様な夢・進路に対応する高校」>

志津川高校は南三陸町内の三つの中学校と協力し、県内の高校で唯一、「連携型中高一貫教育」に取り組んでいます。

世界的な不況が叫ばれるなか、6年連続となる就職率100%を達成し、山形大、弘前大、宮城大の国公立大学に4名が合格するなどの進路実績をあげた平成20年度の卒業生は、中学校1年生から「連携型中高一貫教育」を受けてきた学年でした。

今年の新入生は、町内の中学生の7割が志津川高校に入学しました。このことから分かるように、生徒のみなさんが希望する進路も多様で、その希望をかなえるための様々な取組が行われています。

個人面談を何度も行い、生徒一人一人の希望をかなえるための話し合いをすることは、どの高校でも行われていることだと思いますが、その他にも、「志津川高校ならではの」の取り組みを今回はいくつか紹介します。

☆☆☆「働く」意義を実際に体験して学ぶ『ジュニアインターンシップ』☆☆☆

「就業体験学習」はみなさんの中学校でも行われていて、イメージしやすいかもしれません。志津川高校で行われる「就業体験学習」の特徴は、

- ① 4日間という「長期間」（打ち合わせを含めると5日間）連続して、高校2年生「全員」が取り組む。
- ② 「南三陸町内の事業所」に全面的に協力していただいている。

ということです。

この取組は、「勤労体験を通して、『職業に対する正しい考え方』を身につけ、『社会に出て働く意欲』を高める」という目的で、進学希望者も含めて2年生全員が参加する形で行われています。昨年度は南三陸町内55もの事業所から協力をいただき実施しました。

実施後のアンケートには、「徹底した品質管理に驚いた」（水産加工）や「入所している一人一人のことを考えている職員の人たちがとても印象的でした」（福祉施設）、「単純作業の大変さを学んだ」（販売）など、長期間にわたり実際に体験したからこそ感じ、考えることができた感想が数多く寄せられています。

この「ジュニアインターンシップ」が、6年連続就職率100%という志津川高校の就職率の高さを支える取組のひとつと言えます。

☆☆☆夏休みの間中行われる『夏期講習』☆☆☆

中学生のみなさんは一日にどのくらい勉強していますか。志津川高校では「学習室」という部屋があり、生徒の一人一人が区切られたブースの中で、放課後遅くまで勉強をしている姿が見られます。職員室前の廊下には蛍光灯と机が設置され、先生方に質問したり、意欲的に学習に励む様子が見られます。

生徒の希望に合わせ、平日放課後に行われる課外学習や個別指導もありますが、今回は昨年度の「夏期講習」について説明します。その特徴は、

- ① 夏休み中の平日、毎日行う。（お盆期間中は「学習合宿」）
- ② 朝8時30分から夕方4時20分までそれぞれの進路希望に応じ一つから五つの講座を受講する。

ということです。

3年生の大学・短大・看護学校などへの進学希望者は、ほとんど休まず、毎日元気に学校にきて勉強を続けます。

以上、特徴的な取組を紹介しましたが、読んでいただいで分かるように、生徒のみなさんのやる気と先生方のやる気がかみ合い、進路実現100%の「夢かなう場所」を目指して努力している姿が、志津川高校の一番の魅力といえるかもしれません。

連携していない中学校から入学する場合でも、入学後に困ることは一切ありません。志津川高校の一日入学は7月31日（金）に行われます。また、ホームページもぜひご覧ください。（<http://www.sizugawa-hs.myswan.ne.jp/>）

■ 4 高校情報 ■

宮城県の高等学校からのお知らせを紹介するコーナーです。

□ 河南高等学校

| < (仮称) 石巻北高等学校 平成22年4月総合学科スタート >

河南高校は、来年度から総合学科に学科改編し、校名も石巻北高校になります。総合学科は、自分の将来の職業を考える学習を重視します。また、自分の進路目標を達成するために、幅広い選択科目の中から自分で科目を選択し、一人ひとりの生徒が主体的に学習することを重視します。

本校では、入学した生徒が科目を選択しやすいように、系列として進路目標に合わせた選択科目群を準備しています。

系列とその特色は下記の通りです。

| 系 列 | 上段 (特色) / 下段 (主な進路)

| 食 農 | 農産物の生産と食品の加工、食の安全に関する学習
| 動物・環境・農業系の大学、専門学校、就職

| 家 庭 | 衣食住や保育福祉など、家庭生活全般にわたる学習
| 食物・栄養・福祉系の大学、専門学校、就職

| 経 情 | 簿記・会計、ICT、経営など、企業人としての技能・知識の学習
| 経済・情報・ビジネス系の大学、専門学校、就職

| 教 養 | 一般教養 (芸術科目含む) を広く身につけ、資格を積極的に取得する学習
| 専門学校、就職

| 進 学 | 大学や上級学校への進学を目指して学習
| 大学、看護医療系専門学校、公務員

□ 第二女子高等学校

| <平成22年4月 (仮称) 仙台二華中学校・高等学校が開校します >

宮城県仙台二華中学校・高等学校は、次の時代を担う俊英として、世界、日本、地域に貢献できるリーダーを育成することを目指す、男女共学・併設型中高一貫教育校です。明治37年(1904年)に「東華女学校」として創立されて以来、引き継がれてきた宮城県第二女子高等学校の明朗で誠実な校風を基としながら、「至誠貢献」「進取創造」を新たな校訓として定め、男子生徒にも女子生徒にも魅力ある学校を創り上げていこうとしています。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇仙台二華高等学校の教育環境や教育活動の紹介◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

①創造性あふれる主体的な生徒を育成する新しい学びの場

仙台二華は、かつて常磐の杜(ときわのもり)と呼ばれた緑豊かで閑静な街、仙台市若林区連坊に新設されます。JR仙台駅からは徒歩15分、仙台市地下鉄南北線五橋駅からは徒歩7分と、通学に大変便利な土地です。

「品格・機能・交流・潤い」をキーワードに設計された新校舎を、現在、建築中です。地上7階建ての高層建築であり、中央に大型のアトリウム(吹き抜け)を有する、機能的で開放的な建物です。中学生と高校生、男子生徒と女子生徒が、学校生活の様々な場面で、互いに学び合い、高め合っていける校舎となるように工夫され

ています。

②学び合い、高め合う併設型中高一貫教育校

仙台二華では、中学生と高校生が同じ校舎で学びます。学校行事や部活動では、中学生と高校生と一緒に活動したり、交流したりします。中学生が高校生を手本とすることや高校生が中学生を教えたり、助けたりすることで、自主的な態度やリーダー性を育てていきます。

③進路希望を実現させる質の高い授業

1単位時間を50分間とし、1週当たり33時間で時間割を編成しています。学習内容の理解度や定着度を高めるため、第二女子高等学校では45分としていた1単位時間を50分としました。

高等学校1年は、芸術（音楽・美術・書道）が選択である以外は、共通履修であり、国語、英語、数学の3教科の時間を標準時数よりも多く学習します。高等学校2年では、卒業後の進路や本人の興味・関心に応じて、文系か理系のいずれかを選択します。高等学校3年では、必修科目である現代文、古典、リーディング、ライティング、体育を除いた19単位が選択科目となっています。国公立大学や難関私立大学の入学試験に対応した科目を選択することができます。

④学ぶ意欲を高め、個性を磨く「総合的な学習の時間」

「地球環境」をメインテーマとして、教科科目での学習内容を活用したり、自らの好奇心に基づいて探究したりする授業として、インターナショナルスタディー（IS）とサイエンティフィックリサーチ（SR）があります。地球、自然、社会、そして、人間がいったいどのような状況にあるのかを体験的に知ることからはじめ、課題解決の手法や方法を身につけながら、「地球環境」と自分とを結びつけて考え、表現し、行動できる能力と資質を高めていきます。

また、こうした学習活動を通して、学ぶ意義や自分の将来、世界の将来について考え、学習に対する意欲を高めていきます。

⑤一人一人を伸ばし、引き上げるサポート体制

仙台二華は、進路指導に「実績」がある新設校です。第二女子高等学校は、県内屈指の進学校として、進学指導の情報とノウハウを蓄積してきました。また、HR担任との二者面談や教科担任による個別指導、小論文添削指導は、多くの卒業生から好評を得てきました。職員室には気軽に入室でき、休み時間や放課後に、教員に質問する生徒が多いのも第二女子高等学校のよき伝統の一つです。

長期休業中には、課外講習や学習合宿を展開し実践力・応用力を養成します。高等学校3年の県総合体育大会後からは、放課後、土曜日を含めて課外講習を展開し、志望校への合格に向けた学力伸長をサポートします。

⑥感性を豊かにし、学ぶ意欲を高める体験的な活動

仙台二華での学びは、世界に広がっていきます。校外へ出向いたり、校外の方を招いたりし、世界を広げ自分を見つめる機会を多く設定しています。海外への研修旅行や自然観察の巡検、大学教授による講演、研究室への訪問、ユネスコスクール指定校としての国際交流事業などを展開していきます。

◇◇◇◇◇◇「仙台二華高等学校オープンスクール」のお知らせ◇◇◇◇◇◇

仙台二華高等学校の教育活動を説明し、学校の雰囲気を実験していただく「オープ

ンスクール」を次のように開催いたします。多くの中学3年生の参加をお待ちしております。

日時：平成21年8月1日（土）、午前9時30分から11時50分まで

場所：宮城県第二女子高等学校

（仙台市太白区根岸町15番2号 地下鉄長町1丁目駅から徒歩5分）

対象：中学校3年生

内容：教育活動の全体説明と模擬授業などへの参加、部活動の見学

申し込み：各中学校の進路指導担当の先生に、お早めにお話ください。各中学校でまとめて、6月30日（火）までにご送付いただくことになっています。

→〈くわしくはこちら〉<http://www.nijo.myswan.ne.jp/> また、検索サイトで「仙台二華」と入力しお探しください。

■ 5 お知らせ ■

◆就職達成セミナーのご案内

卒業学年で就職を希望している生徒の皆さんを対象として、就職ガイダンスやマナー講習の他、少人数グループによる模擬面接を行います。

- ・対象者：県立高等学校の生徒で卒業年次に在籍している生徒
- ・申込方法：各学校の進路指導担当の先生に申し出てください。
- ・申込締切：6月15日（月）高校教育課キャリア教育班まで

■ 6 編集後記 ■

今年度初めての「高校教育課 情報メール」第10号をお届けします。今回は、夏休み前後に実施予定の合同相談会やオープンキャンパス（学校説明会）の案内とあわせて、県内の高等学校の特色ある取組もを紹介しています。皆さんの参考になれば幸いです。

今年も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしていますので、「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
